

事業コード	H23-建-新-04		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業費(雪寒)		部局課室名	建設交通部 道路課
事業種別	凍雪害防止事業(堆雪幅の確保)		班 名	調整・企画管理班 (tel) 018-860-2485
路線名等	国道105号		担当課長名	柴田 明
箇所名	仙北市上桧木内		担当者名	主幹兼班長 佐藤 秀治
総合計画との関連	政策コード	11	政策名	生活基盤の整備
	施策コード	01	施策名	快適な生活環境の確保
	指標コード	04	施策目標(指標)名	四季を通じた快適で利便性の高い道路環境

## 1. 事業の概要

事業期間	H24 ~ H30 (7年)		総事業費	6.6億円	国庫補助率	7.2/10	
事業規模	○延長L=1,600m 幅員W=5.5(9.5)m (2.0-5.5-2.0)						
事業の立案に至る背景	<p>国道105号は、由利本荘市を起点とし仙北市を經由し北秋田市に至る主要幹線道路である。県北地域と県南地域を最短距離で結ぶ南北軸となる路線であり、第2次緊急輸送道路にも指定されていることから、物流及び観光の面から重要な機能を有している。しかし、当該区間は幅員狭小のうえ、曲線半径も規定値を満たさない箇所が数多くあるほか、冬期交通の定時性・安全性も損なわれている。国道に平行する桧木内川の河川改良事業が着手しており、河川事業と工程を合わせることでより効果的な事業効果を得られることが期待できるため、新規整備箇所として要望するものである。</p>						
事業目的	<p>○幹線道路における車両のすれ違いおよび大型車の走行困難箇所の解消(地域づくり支援) 最小曲線半径100m以下 =7箇所 ○冬期における安全で定時性が確保された雪に強い道路づくり</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度以降
	事業費		660,000	25,000	65,000	100,000	470,000
	経費内訳	工事費	569,000		42,000	58,000	469,000
		用補費	60,000		18,000	42,000	
		その他	31,000	25,000	5,000		1,000
	財源内訳	国庫補助	475,200	18,000	46,800	72,000	338,400
県 債		166,300	6,300	16,300	25,200	118,500	
その他							
一般財源	18,500	700	1,900	2,800	13,100		
事業内容			・詳細設計 ・補償物件等調査	・用地買収 ・建物補償 ・道路改良	・用地買収 ・建物補償 ・道路改良 ・橋梁工	・道路改良 ・橋梁工	
調査経緯	○H22 道路予備設計						
上位計画での位置付け	○ふるさと秋田元気創造プランの「社会資本整備」を推進する事業						
関連プロジェクト等	○1級河川桧木内川県単河川改良事業(宮田工区)(H20~H28)						
事業を取り巻く情勢の変化	○幅員狭小、線形不良のため、大型車が通行する際危険な状態が続いている。 ○冬期間における幅員縮小。						
事業効率把握の手法	指標名	消融雪施設整備率					
	指標式	整備済延長/計画延長					
	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無		○ 有 ● 無		
	目標値 a	60 %		データ等の出典	道路課調べ		
	達成値 b	60 %					
達成率 b/a	100 %		把握の時期	平成23年 4月			

## 2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	○曲線半径規定値(R=100m以上)を満たさない箇所が7カ所もあり、視距が十分に確保されていないことから、大型車の走行に支障をきたしている。 ○冬期の旅行速度が25km/h低下することから交通の定時性を確保する必要がある。(夏期57km/h)	22点
緊 急 性	○1級河川桧木内川の河川改良事業(県単河川改良:宮田工区)が事業着手しており(H20~H28)、道路改良事業を実施することにより効率的な事業効果を発揮できるため、緊急性は高い。 ○事業実施により第二次緊急輸送路としての機能を確保できる。	15点
有 効 性	○当該地区から大仙市の第2次医療施設にアクセスする道路として位置づけられる。 ○秋田内陸縦貫鉄道に平行しており(最寄駅:上桧木内駅)、鉄道運休時の旅客輸送に対応できる。	23点
効 率 性	○可能な限り「現道拡幅による道路改良」として事業実施するため、「バイパス化による道路改良」と比較してもコスト縮減が図られる。 ○また、桧木内川に隣接した区間においては、河川事業との費用負担によりコスト縮減が可能。	15点
熟 度	○国道105号大曲鷹巣道路整備促進期成同盟会から整備に関する要望が提出されている。	15点
判 定	ランク ( ● I ○ II ○ III )	90点
	○ランクIであり、事業実施箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。	
総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留	90点
	評価結果から事業箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。	

## 3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
当該区間は、急カーブや幅員狭小により、特に冬期の大型車の交差が困難な状況となっている。 交通の安全性確保の観点から、必要性及び緊急性は高く、事業実施という1次評価は妥当と判断される。	

## 4. 財政課長意見

意見内容	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
当該区間は、仙北市と北秋田市を結ぶ幹線道路であるが、車道が狭小で、曲線半径規定値に満たない危険箇所も多いことから、事業の優先度は高い。 桧木内川の改修工事に併せて事業を実施することで周辺を一体的に整備することができ、効率性の面からも妥当である。	

## 5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業の実施は妥当である。	

## 6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

事業箇所を国に新規要望する。
----------------

## 7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

評価種別 新規箇所評価  
適用基準名 凍雪害防止事業 (堆雪帯)

事業コード(H23-建-新-04 )  
箇所名 (仙北市上桧木内 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要		
必要性	事業の必要性	雪害指定路線である	5	5			
	県関与の必要性	雪害指定路線でない	0				
	県民ニーズ	一般県民を対象とした調査でニーズが高い 一般県民を対象とした調査でニーズを把握 一般県民を対象とした調査を行っていない	一般県民を対象とした調査でニーズが高い	5		5	
			一般県民を対象とした調査でニーズを把握	3			
			一般県民を対象とした調査を行っていない	0			
			増大している	5			
	社会情勢変化による需要変化	特に変化はない 低下している	特に変化はない	3		3	
			低下している	0			
			5 件該当	15			9
			4 件該当	12			
3 件該当	9						
道路の現状 ・現道の混雑度 $\geq 1.0$ ・現道の旅行速度 $\leq 30\text{km/h}$ ・事故が発生 ・バス路線等 ・雪を路外に排出できない	該当項目なし	2 件該当	6				
		1 件該当	3				
		0	0				
		計	30	22			
		緊急性	緊急輸送道路又は緊急確保路線	指定路線である	5	5	
緊急輸送道路又は緊急確保路線	指定路線を補完する	3					
緊急性	事業未実施の影響	指定路線と関連がない	0	5			
		周辺への影響等が大きい	5				
		周辺への影響等が小さい	1				
		他事業との関連	関連事業との調整で緊急性が高い		5	5	
関連事業との調整で緊急性が低い	1						
計	15	15					
有効性	期待される具体的効果						
	救急医療施設へのアクセス	直接アクセスする	5	5			
		間接的に補完する	3				
		アクセスへの貢献は小さい	1				
	高速 I C、空港、港湾等へのアクセス	直接アクセスする	5	5			
		間接的に補完する	3				
		アクセスへの貢献は小さい	1				
	冬期観光施設へのアクセス	直接アクセスする	5	5			
		間接的に補完する	3				
		アクセスへの貢献は小さい	1				
期待される具体的効果							
物流拠点へのアクセス	直接アクセスする	5	5				
	間接的に補完する	3					
	アクセスへの貢献は小さい	1					
市町村合併関連	市町村合併の推進に貢献する	5	3				
	市町村合併の推進には特に影響しない	3					
	施策目標とは別のその他関連事業である	0					
計	25	23					
効率性	事業実施コストの縮減						
	該当項目数	3 項目以上	5	5			
		2 項目	3				
		無し又は 1 項目	0				
	交通量	1,000台/日以上	10	10			
		500台/日以上1,000台/日未満	8				
300台/日以上500台/日未満		6					
300台/日未満		0					
計	15	15					
熱度	地元との合意形成の状況						
	地域住民の事業実施の意向	意向が強く、要件の同意をクリアしている	5	5			
		意向が強く、要件の同意を概ね得ている	3				
		意向が一部で強く、要件の同意を得ていない	1				
	市町村の参画	積極的に参画し、要望書等の提出がある	5	5			
		参画している	3				
		参画していない	0				
	環境との調和						
環境保全への配慮	十分に配慮されている	5	5				
	配慮が不十分で、検討している	3					
	特に配慮はない	0					
計	15	15					
合計			100	90			

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度が高い	80点以上	I	
II	優先度が低い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		